

【大気汚染（粉じん）】

1) 調査目的

撤去工事実施区間に直近の集落である荒瀬集落において、工事実施前の粉じん等の発生状況を把握することを目的とする。

2) 調査時期・頻度

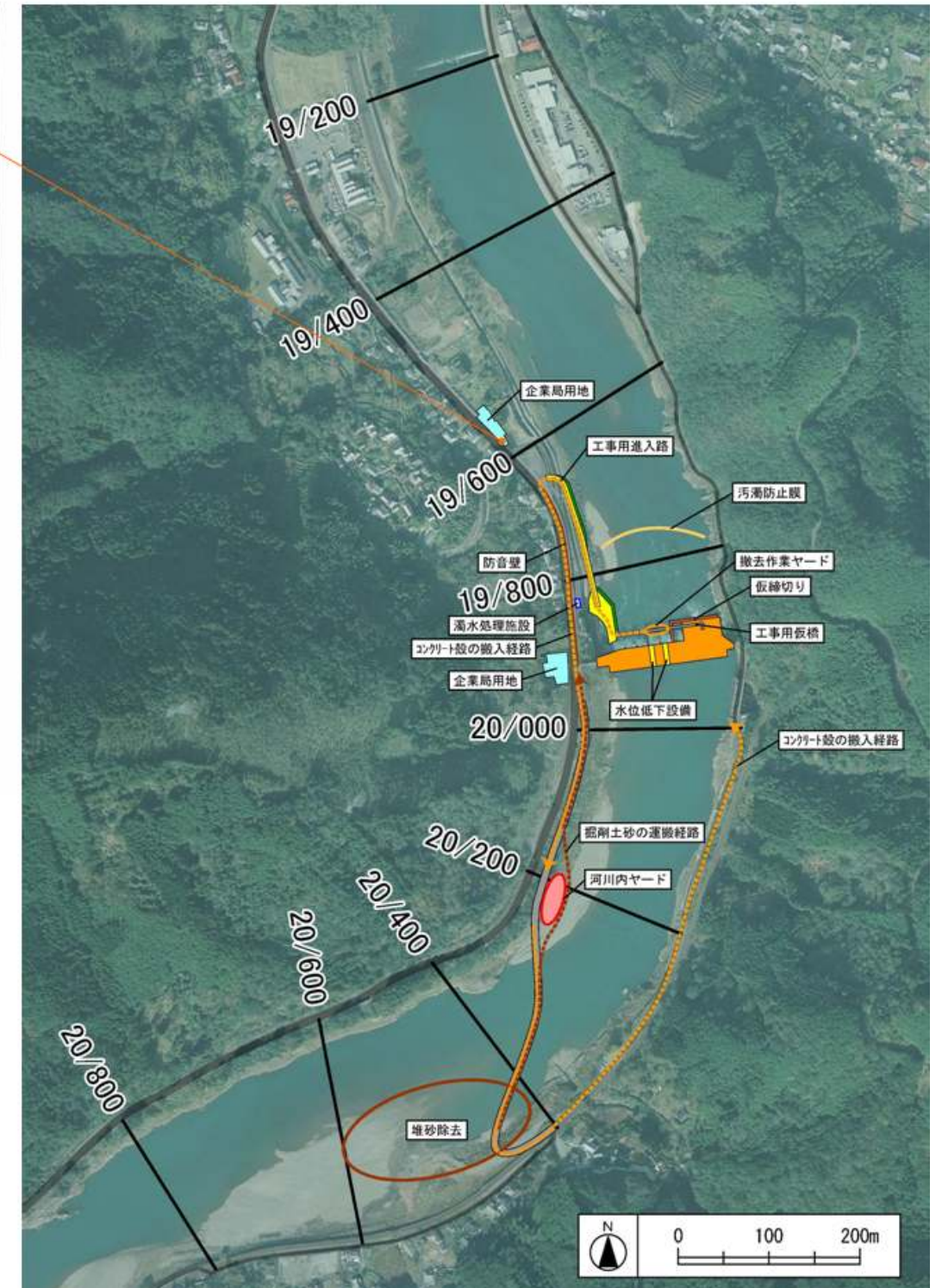
出水後に工事が実施されることを考慮し、平成 24 年 11 月～平成 25 年 3 月に調査を実施する。

3) 調査方法

デポジットゲージを設置し、降下ばいじん量を採取する。1 月ごとに試料を採取し、固形物総量を測定し、降下ばいじん量を算出する。

4) 調査地点

基本的には工事前の昨年度調査地点と同じ地点で調査を実施する。すなわち、工事区域と荒瀬集落の間に位置する場所とし、荒瀬ダム下流の企業局用地内にデポジットゲージを設置する。



5) 調査結果

平成 24 年 11 月の降下ばいじん量 2.24 t/km²/月であり、参考基準（「面整備事業環境影響評価マニュアル」（平成 11 年 建設省都市局）の 10t/km²/月）を下回るものであった。

表 1 粉じん調査結果（平成 24 年度）

		11月分	12月分	1月分	2月分	3月分
p H		6. 4				
水不溶性物質	mg	91. 40				
水溶性物質	mg	66. 89				
固形物総量	mg	158. 29				
ロート径	cm	30	30	30	30	30
降下ばいじん量	(t/km2/期間)	2. 24				
採取期間	開始日	11月1日	12月3日			
	採取日	12月3日				
採取日数	日	32				
降下ばいじん量	(t /km2/月)	2. 10				
※ 参考値	(t /km2/月)	10				